

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理									
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質・性能									2.7		
Q-1 室内環境							0.40		3.1		
1 音環境							3.0	0.15	2.7	1.00	2.8
1.1 騒音							3.0	0.40	3.0	0.29	
1 暗騒音レベル							3.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策											
1.2 遮音							3.0	0.40	3.4	0.50	
1 開口部遮音性能							3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能									3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									2.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									3.0	0.20	
1.3 吸音							3.0	0.20	1.0	0.21	
2 温熱環境							2.7	0.35	3.0	1.00	2.8
2.1 室温制御							2.4	0.50	3.0	0.50	
1 室温設定							2.0	0.60	3.0	0.60	
2 換気装置の温度制御性											
3 外皮性能					W		3.0	0.40	3.0	0.40	
4 ゾーン別制御性											
5 温度・湿度制御											
6 個別制御											
7 時相外空室に対する配慮											
8 監視システム											
2.2 湿度制御							3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式							3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境							2.7	0.25	3.3	1.00	3.0
3.1 昼光利用							4.2	0.30	4.0	0.30	
1 昼光率							5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口									3.0	0.30	
3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策							1.0	0.30	3.0	0.30	
1 透明部材のグレア											
2 昼光制御					W		1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度							3.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度							3.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度および											
3.4 照明制御							3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気環境							3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策							4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学物質汚染							4.0	1.00	4.0	1.00	
2 空気中の有害物質											
3 デニ・カビ等											
4 レジオネラ対策											
4.2 換気							3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能									3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画											
4.3 運用管理											
1 CO ₂ の監視											
2 喫煙の制御											
Q-2 サービス性能								0.30			2.9
1 機能性							3.4	0.40	2.6	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.60	2.0	0.60	
1 広さ・収納性											
2 高度情報通信設備対応									2.0	1.00	
3 バリアフリー計画							3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性							4.0	0.40	3.5	0.40	
1 広さ感・景観									3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース											
3 内装計画							4.0	1.00	4.0	0.50	
2 耐用性・信頼性							2.8	0.31			2.8
2.1 耐震・免震							3.0	0.48			
1 耐震性							3.0	0.80			
2 免震・制振性能							3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数							2.5	0.33			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		2.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		2.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		3.0	0.29			
2.3 適切な更新											
1 床土(床板)・外壁仕上げ材の更新											
2 配管・配線材の更新											
3 主要設備機器の更新											
2.4 信頼性							3.0	0.19			
1 空調・換気設備							3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備							3.0	0.20			
3 電気設備							3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法							3.0	0.20			
5 通信・情報設備							3.0	0.20			

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
	W	G	S							
3 対応性・更新性					3.0	0.29	3.4	1.00	3.2	
3.1 空間のゆとり				階高4,100mm、3,600mm、住居部分は3,410mm・3,460mmとしている。			3.8	0.50		
1 階高のゆとり							5.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ							2.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり							3.0	0.50		
3.3 設備の更新性						3.0	1.00			
1 空調配管の更新性						3.0	0.17			
2 給排水管の更新性					3.0	0.17				
3 電気配線の更新性					3.0	0.11				
4 通信配線の更新性					3.0	0.11				
5 設備機器の更新性					3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22				
Q-3 室外環境(敷地内)						0.30			2.0	
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40			2.0	
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20			3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					1.5	0.40			1.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		2.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			1.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性									2.7	
LR-1 エネルギー						0.40			2.8	
1 建物の熱負荷抑制	W				1.0	0.40			1.0	
2 自然エネルギー利用					2.5	0.20			2.5	
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				2.0	0.50				
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50				
3 設備システムの高効率化	W			省エネルギーの届出書の数値記入により	4.8	0.40			4.8	
4 効率的運用										
4.1 モニタリング	W									
4.2 運用管理体制	W									
LR-2 資源・マテリアル						0.30			3.1	
1 水資源保護					3.0	0.15			3.0	
1.1 節水	W				3.0	0.60				
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40				
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67				
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33				
2 低環境負荷材					3.2	0.85			3.2	
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.37				
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67				
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33				
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				-	-				
2.3 有害物質を含まない材料					3.0	0.09				
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18				
2.5 部材の再利用可能性	W			乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別が比較的容易である。 (躯体・LGS・仕上材)、GL工法採用。ユニットバス、システムキッチン、洗面化粧台ユニットを採用	5.0	0.18				
2.6 フロン・ハロンの回避					3.5	0.18				
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50				
2 断熱材	W				3.0	0.50				
3 冷媒	W				-	-				
LR-3 敷地外環境						0.30			2.3	
1 大気汚染防止	W			潜熱回収型を使用している。	4.0	0.10			4.0	
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05			3.0	
2.1 騒音					3.0	1.00				
2.2 振動					-	-				
2.3 悪臭					-	-				
3 風害、日照障害の抑制					3.0	0.10			3.0	
3.1 風害の抑制					3.0	0.70				
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30				
4 光害の抑制					3.0	0.05			3.0	
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30			1.0	
6 地域インフラへの負荷抑制					2.7	0.40			2.7	
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30				
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10				
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30				
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		2.0	0.30				

LR-1 用途別得点表		集合住宅	-	-	-	面積按分
		8,343 m ²	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	1.0	-	-	-	1.0
3	設備システムの ERRIによる評価	-	-	-	-	4.8
	高効率化 個別設備による評価	4.8	-	-	-	
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-